

改訂第2版

待望のオールカラー版で新登場!

運動療法のための 機能解剖学的 触診技術

2冊そろって
大好評
発売中!!

改訂第2版
運動療法のための
機能解剖学的
触診技術

下肢
体幹

改訂第2版
運動療法のための
機能解剖学的
触診技術

上肢

監修

青木 隆明

岐阜大学医学部附属病院整形外科・リハビリテーション部

執筆

林 典雄

中部学院大学リハビリテーション学部理学療法学科教授

絶大な支持を得た初版に、超音波解剖など最新の知見を反映し、ボリューム大幅増!
フルカラーの写真とイラストで、より見やすく・わかりやすくなった触診技術の決定版!

すべての写真を刷新して、フルカラー化!

肌の微妙な凹凸がハッキリ見えるので、触診するポジションや
浮き上がる筋や靭帯まで、よりわかりやすくなりました。

イラスト・本文も、オールカラー化!
最新知見を反映して、解説もさらに詳しくなりました!

新たに超音波画像を追加して、深層の構造までも詳説。
機能解剖が立体的に理解できます。

写真の補足として、吹き出し形式で
イラストや写真を追加!

重要なポイントは吹き出し形式で、写真のアップやイラストを併載。
細かいところや見えない部分まで詳しく解説しています。

上肢

目次

I 触診の基本

基本的な立位肢位と解剖学的立位肢位/運動の面・軸・方向/姿勢の表し方/触診を行う際の指のあて方

II 上肢の骨

肩甲骨 scapula/鎖骨 clavicle/上腕骨 humerus/橈骨 radius/尺骨 ulnar/手根骨と指骨 carpal bone & phalangeal bone

III 上肢の靭帯

肩関節複合体に関連する靭帯/肘関節複合体に関連する靭帯

IV 上肢の筋

肩甲上腕関節に関わる筋/肩甲胸郭関節に関わる筋/肘関節に関わる筋/手関節および手指に関わる筋

発売中

■ 定価 5,985円 (5%税込) B5判・376頁・オールカラー・写真660点、イラスト450点 ISBN978-4-7583-1136-6

下肢 体幹

目次

I 下肢の骨

骨盤 pelvis/大腿骨 femur/膝関節周辺 around the knee joint/足関節および足部周辺 around the ankle joint & foot

II 下肢の靭帯

スカルパ三角に関連する靭帯/膝関節に関連する靭帯/足関節に関連する靭帯

III 下肢の筋

股関節に関わる筋/膝関節に関わる筋/足関節および足部に関わる筋

IV 体幹一胸郭・脊柱関連組織

胸郭に関連する緒組織/脊柱に関連する緒組織

発売中

■ 定価 5,985円 (5%税込) B5判・344頁・オールカラー・写真640点、イラスト360点 ISBN978-4-7583-1137-3

運動器リハビリテーションに欠かせない “機能解剖の知識”と“触診技術”を 豊富なイラストと写真で完全マスター

機能解剖に基づいて
触診技術を解説した
PT・OT必携の書!

全ての写真を刷新して
全面オールカラー化!

肌の微妙な凹凸がハッキリ見える!
触診のポイントがわかりやすい!

2 膝関節に関する筋

大腿二頭筋長頭 biceps femoris long head 大腿二頭筋短頭 biceps femoris short head

解剖学的特徴

- **大腿二頭筋長頭**
【起始】坐骨結節部 【停止】膝骨頭
【支配神経】坐骨神経幹神経群(L5-S2)
- **大腿二頭筋短頭**
【起始】大腿骨粗隆外側部 【停止】長頭筋を介し膝骨頭
【支配神経】坐骨神経幹神経群(L5、S2)
- 大腿二頭筋短頭は、長頭の停止部に対し深層から表側に合流し、長頭筋を介して膝骨頭へ張力を伝達する。
- 大腿二頭筋短頭は、その表層を長頭によりほぼ完全に覆われており、体表からは長頭の筋腹が主に観察される。

機能的特徴

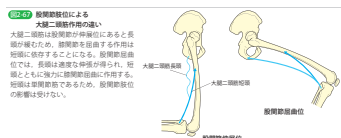
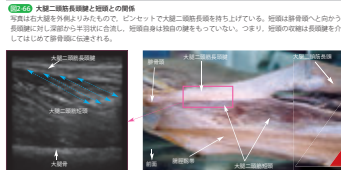
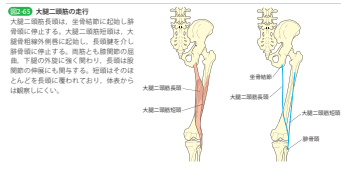
- 大腿二頭筋長頭は股関節伸張ならびに膝関節屈曲に作用する。
- 大腿二頭筋短頭は下腿を固定した場合、骨髄を長頭させる。
- 大腿二頭筋短頭は股関節を屈曲する。また長頭とともに下腿への強力な内旋力が作用した場合、大腿二頭筋を介した膝関節屈曲が生じる。
- 膝関節の屈曲位において大腿二頭筋短頭と膝関節の間に、外側半月板の後方の圧縮を生じやすいポイントである。
- 下腿表在の骨行において、外側半月板がみられる場合、アライメントに問題がなければ大腿二頭筋の筋腹が低く張る。

臨床との接点

- 大腿二頭筋長頭は内側MUSKINGとともに、S&Sの制限因子となる。
- 膝関節屈曲位において膝関節の屈曲を必要とする。大腿二頭筋短頭である。
- 膝関節屈曲位で大腿二頭筋に強力な収縮力が作用した場合や、下腿への強力な内旋力が作用した場合、大腿二頭筋を介した膝関節屈曲が生じる。
- 膝関節の屈曲位において大腿二頭筋短頭と膝関節の間に、外側半月板の後方の圧縮を生じやすいポイントである。
- 下腿表在の骨行において、外側半月板がみられる場合、アライメントに問題がなければ大腿二頭筋の筋腹が低く張る。

関連する疾患

- tight hamstrings、膝関節屈曲位、大腿二頭筋断裂・肉離れ、膝骨頭脱臼、下腿切断、外側半月板損傷、など。



各項目の冒頭では、触診に必要な知識を簡条書きでまとめて整理。

超音波画像を併用して深層の構造も詳しく解説。

Skill Up

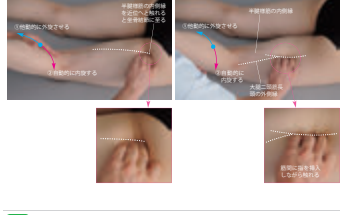
上腿二頭筋長頭筋頭部から筋腹へ伝達する筋力

patellar arch sign
徒手検査や疾患の知識など、臨床にも役立つ知識を適宜掲載。

コラム Skill Up

徒手検査や疾患の知識など、臨床にも役立つ知識を適宜掲載。

2-1-1 半腱筋の触診



2-1-2 半腱筋の触診

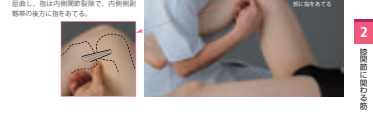


重要なポイントは吹き出し形式で、写真のアップやイラストを併載。

2-2-1 半腱筋の触診



2-2-2 半腱筋の触診



2-2-3 半腱筋の触診



- 「触診の基本」の章では、肢位から運動の面・軸・方向、姿勢の表し方、指のあて方まで、触診や運動療法を行ううえで必要な基本的知識を解説。
- 各部位ごとに、順を追って触診技術をマスターできるように構成

- 触診に必要な知識（解剖学的特徴・機能の特徴・臨床との接点・関連する疾患）を簡条書きで冒頭にまとめて掲載。
- 触診に必要な解剖学的知識と、その知識に基づく触診技術をフルカラーのイラスト・写真を多用して詳しく解説。

※ご注文、お問い合わせは最寄りの医書取扱店または直接弊社営業部まで。